



山口副知事（中央左）に対し、ワクチン無料接種に関する資料を手渡す竹島理事長（同右）と県議会公明党のメンバーら

接種率向上に工夫を

公明県議らが副知事と意見交換

子宮頸がん
予防ワクチン
先駆的取り組み紹介

茨城県

茨城県議会公明党の

井手義弘、田村佳子、

高崎進の各議員と、党

県本部の八島功男・市

民活動局次長は7月30

日、県庁内で、特定医

療法人つくばセントラ

ル病院の竹島徹理事長

らと共に山口やち急副

知事に会い、子宮頸が

ん予防ワクチンの接種

率向上などをめぐって

意見交換した。

同院は、45歳以下の

全女性職員（希望者）

に対して、今月から同

ワクチンの無料接種を

開始している。こうし

た取り組みは県内では

初めて。竹島理事長は、

検診率の向上や、地域

社会に対する啓発効果

も期待して実施に踏み

切ったことに触れ、同

院の取り組みを紹介す

る資料を手渡した。

県議会公明党のメン

バーらは、子宮頸がん

で年間約3500人が

亡くなると推計されて

いることを強調した上

で、「ワクチンの接種

に関心が高まるにつれ

に、検査率を向上

させるための行政の工

夫が必要」と訴えた。

「子宮頸がんに関する

正しい情報を県民に知

らせた上で、

山口副知事は同院で

実施されている無料接

種に対し、「子宮頸が

んやワクチン接種への

関心が高まるにつれ

に、検査率を向上